

報告事項ス

第1回みんなでスポーツ「スポレク トリピー フェスタ」～全国スポレク祭
開催記念～の実施結果について

第1回みんなでスポーツ「スポレク トリピー フェスタ」～全国スポレク祭開催
記念～の実施結果について、別紙のとおり報告します。

平成19年12月21日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

第1回みんなでスポーツ「スポレク トリピー フェスタ」～全国スポレク祭開催記念～ の実施結果について

鳥取県スポーツセンター

1 趣 旨

平成18年度に本県で開催した第19回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク鳥取2006」の取り組みを一過性のものとせず、生涯にわたる豊かなスポーツライフや健康づくりの実現のため第1回みんなでスポーツ「スポレク トリピー フェスタ」を実施した。

2 概 要

(1) 開催期間 平成19年10月21日(日)

(2) 会 場

米子市民体育館・米子市東山体育館・米子市営東山陸上競技場

(3) 主 催 鳥取県・鳥取県教育委員会

共 催 米子市・米子市教育委員会・(財)鳥取県体育協会

鳥取県体育指導委員協議会・鳥取県レクリエーション協会

鳥取県障害者スポーツ協会



3 参加者数 延べ1,449人

4 イベントの概要

(1) オープニングセレモニー <10:00～10:40>

○出演：ダンス(やまつみスポーツクラブ)

トランポロビックス(HAT ROBICS JAPAN)

○式典：主催者代表挨拶 中永廣樹(鳥取県教育委員会教育長)

会場地代表挨拶 足立 操(米子市教育委員会教育長)



(2) 体操教室

○講師：田中光(アトランタオリンピック体操競技出場)

①「トリピー 健康・体力づくり体操教室」 <11:00～12:00>

○参加対象・内容

：中高齢者を対象に健康づくりを目的とした体操教室

○参加者数：223人

②「トリピー 親子体操教室」 <13:30～14:30>

○参加対象・内容

：幼児・小学校低学年を対象とした親子で楽しめる体操教室

○参加者数：66組



(3) トリピー健康ひろば <11:00~16:00>

- ①「健康相談」 ○内容：メタボリックシンドローム 腹部測定
- ②「体力測定」 ○内容：新体力テスト(握力・長座体前屈等)を実施
- ③「総合型地域スポーツクラブ啓発ブース」○内容：啓発ビデオ・展示



(4) ニュースポーツ体験コーナー <11:00~16:00>

○内容：7種目（ユニカール、ターゲットバードゴルフ等）を実施

(5) 車椅子バスケット体験コーナー <14:30~16:00>

○内容：鳥取県障害者スポーツ協会による体験コーナー



(6) 屋台コーナー

○出店：米子ええもん会（4団体）



5 成果と課題

< 成果 >

- 「トリピー健康・体力づくり体操教室」「トリピー親子体操教室」とも田中光さんの指導は、わかりやすく、それぞれの年代に合わせた内容であり、とても体力づくりに有効だった。
- 特に、中高齢者を対象に講師を招いた「トリピー健康・体力づくり体操教室」は、本県として新しい試みであった。参加者には、好評であり、今後も中高齢者を対象とした教室等を実施したい。
- 「オープニングセレモニー」は、総合型地域スポーツクラブの発表の場（ダンス）となった。また、「ミニトランポリン」を使った「トランポロ・ビックス」（兵庫県より参加）は、新しいスポーツの紹介の場となった。いずれも「スポレク トリピー フェスタ」の趣旨にふさわしい内容であった。
- 他の部署（健康政策課）や共催の団体と連携をして実施することが出来た。
 - ・「健康ひろば」メタボリックシンドロームの腹部測定、健康相談。（健康政策課）
 - ・「ニュースポーツコーナー」（鳥取県レクリエーション協会）
 - ・「体力測定」（体育指導委員協議会）
 - ・「総合型地域スポーツクラブ」（鳥取県体育協会）
 - ・「車椅子バスケット」（鳥取県障害者スポーツ協会）
- 来場者の方から「参加してよかった」「体を動かして楽しかった」などの言葉を頂いた。

< 課題 >

- 開催日（10月第3日曜日）と他の事業（各種目団体の大会・イベント、地区運動会・イベント等）が多く重なり参加者数が伸びなかった。県民スポレク祭の1週間前は、イベントが多い事から開催時期の検討が必要である。
- 多くの関係団体と連携を密にすることが必要である。
- 広報の仕方や参加者の申込み方法等工夫が必要である。